

奈良県立大学生協 学生生活部門によるInstagram発信



[広報]

取り組み概要

日時：10/31~投稿開始
場所：奈良県立大学生協学生委員会
Instagram (@npuseikyogi)
組合員の反応：各投稿につき、15~20程度
の「いいね」が押されていた。

背景や概要：コロナ禍を挟み、長らく活動が途絶えていた学生生活部門による取り組み。奈良県立大学生協学生委員会のInstagramを用いて、奈良生のアルバイト事情などの投稿を行った。

他大学生協を参考に、学生生活に役立つ投稿を

POINT.1

開店休業状態から脱出！自分たちの手で復活



奈良県立大学生協学生委員会の部署のひとつに「学生生活部門」があります。従来は、共済企画やSNS発信企画などに取り組んでいましたが、コロナ禍により途絶えてしまいました。さらに、3年生の学生委員に学生生活部門のメンバーがおらず、ほぼ開店休業状態でした。そこで、代替わり以降、1.2年生が部門を1から再建しました。部門長を中心に取り組みを進めており、今では、他の部門（新学期・店舗）同様に活動が行われています。コロナ禍でなくなってそのまま消滅させるのではなく、自分たちの手で試行錯誤しながら復活に至っている点が素敵です。

POINT.2

「学生生活の参考になれば、いいな」

学生生活部門復活にあたり、部門のメンバーが着目したのは、奈良県立大学生協学生委員会のInstagram。「学生委員会の発信した情報が、学生生活を送るうえでの参考になれば」という思いから、発信活動が始まりました。夏休み前から、Instagramのストーリーズ機能でアンケートを取り、後期開始段階で集計、秋ごろからは、他大学生協のSNSを参考に投稿を作成し、発信に至りました。学生のリアルな声を基に投稿を作成することで、奈良県立大学生協学生委員会だからこそできる発信になっていました。



POINT.3

読みやすい工夫を、随所に



投稿作成にあたり、部門のメンバーが意識したのは「読みやすさ」。字ばかりだと読むのに抵抗を感じてしまうのは言うまでもありません。そこで、投稿1枚あたりの内容をコンパクトにまとめたり、投稿の文面をラジオ風にアレンジしたりすることで、気軽に見てもらえるような工夫が取られていました。さらに、マフラーの巻き方に関する投稿では、実際に学生委員が巻いてみた写真を添付していました。巻き方の順序ごとに写真を撮り、初めて見た人でも簡単に巻けるようわかりやすく提示できていました。

2023年度、久しぶりの活動に踏み切った、学生生活部門のこれからの活躍が楽しみです！みなさんもぜひ、奈良県立大学生協学生委員会のInstagramをご覧ください♪